

いわた ともき
岩田 朋樹



プロフィール

出身地：兵庫県伊丹市
着 任：令和2年9月
勤務地：商工観光課
趣 味：農作業、テニス、旅行
自宅でのんびりを楽しむこと（豆挽きから）

高島町の好きなスポット

海上の棚田

高島町のお気に入りポイント

四季の変化が豊かなところ

2021年の活動

町内イベントへの参加

- 4月 たかはた桜まつり
- 4月 歴史公園ライトアップ
- 6月 駅からサイクリング
- 8月 青竹ちょうちんまつり
- 9月 グル麺ライド
- 10月 高島イルミネーション
- 10月 たかはたフェア
- 1月 わらじみこし
- 2月 冬咲きぼたんまつり

瓜割石庭公園の環境整備

各種イベント等の動画作成

SNS発信



コロナ禍だからできる就農体験を企画したい

着任当初は、置賜の言葉に苦戦し翻弄されていましたが、今は落ち着いて高島での生活を楽しんでいます。

高島の印象は？

夏は畑や田んぼが実り豊かになり、冬は白銀の世界になる。米やぶどう、りんご、ラ・フランスといった季節ごとの特産物があり、毎年お祭りやイベントが行われる。自然だけでなく町が築いてきた文化にも、四季折々の魅力があると感じています。

▼地域のみなさんと協力して作ったレシピ集

どんなことをしているの？

着任当初から、コロナ禍での活動となりましたが、イベントや活動を通じてたくさんの方と接する機会を頂きました。趣味で動画作りをしていることを知っていただき、「動画を使い、高島の魅力を様々な分野で形にして、残していく」という、協力隊としての活動の幅が広がりました。



また、コロナ禍でも、高島へ観光に来てほしいという思いが強かったため、密にならない観光PRとして、一人旅パンフレットを作成しました。「高島を多くの人に知ってもらいたい」という気持ちを込めて、〈密にならない！一人旅でも高島町を楽しめるのはここぞ！〉というコンセプトで作成しました。パンフレットは山形県内の道の駅を中心に設置しています。「パンフレットを持った一人旅の方を見かけたよ」というお話もいただき、作成してよかったと感じています。

これからやってみたいこと

コロナ禍である以上、制限のない活動はできないと思いますが、できることを見つけて行動していきます。農業にも興味があり、人数を限定した就農体験などができればと考えています。さらに、動画やSNSを利用したPRは引き続き力を入れて取り組んでいきたいです。先のニーズを読むような気持ちで、情報に敏感に日々を過ごしていきます。



海上の棚田(岩田隊員撮影)

コロナ前に比べると制限が多い中ですが、「高島町の行事や風景を少しでも伝えることができれば」という思いで取り組んできた一年でした。この活動報告書には、隊員それぞれに今後取り組みたいことが書かれているので、「高島町の先輩」である皆さまにアドバイスなどいただけたら、とても嬉しく、今後の励みになります。

メイドイン高島をつくりたい

高島に住んでみてどうですか？

農閑期真っ只中の研修スタートとなりましたが、ありがたい事に研修の受け入れを快諾してくださった農家さんの協力のもと、週4日程研修に出向き、現場での作業体験や知識の習得をさせていただいております。

この冬は「とにかく雪が多い」との声をあちこちで耳にしました。ビニールハウスの倒壊や屋根の雪下ろしの際に発生した事故など、雪国で生まれ育った方でも日々苦戦していらっしゃる中で恐縮ですが、真っ白な雪景色に心が躍ることもしばしばありました。雪道には慣れていないので、ハンドルにしがみつこうように、緊張しながら運転しました。初めて経験した屋根の雪下ろしなど、心が折れそうになることも多々ありました。それでも雪に覆われた景色を眺めると、この高島町での暮らしがとても愛おしく感じるのです。

これからやってみたいこと

雪解けと同時に私の農業研修をメインにした活動も本格化します。畑での農作業は体力的にきつい時もありますが、何よりも私がずっと望んでいた環境に身を置けていることに大きな喜びを感じています。今後は農業研修だけでなく、地域資源の有効活用や、新たな資源の発掘なども並行して取り組んで行く予定です。その一つとして、ぶどうの「蔓」の利活用です。剪定後にその多くが廃棄処分されている事を知り、元々関心が高かった東北地方のかご編みの技術を学びながら、将来的に自分が作った物を製品化できないかと考えていました。なかなか思うような形にはならず、苦戦を強いられていますが、いつか収穫したぶどうと共に“メイドイン 高島”のかご細工を世に送り出そうと試作を重ねています。かご編みが得意な方がいらっしゃいましたらご一報いただくと嬉しです。



2021

活動報告書

地域おこし協力隊

たかさき
高崎 さと子



プロフィール

出身地：東京都町田市
着 任：令和3年12月
勤務地：農林振興課
趣 味：野鳥観察やキャンプなど自然の中で楽しむこと、雪板滑り

高島町の好きなスポット

まほろば古の里歴史公園

高島町のお気に入りポイント

人の心の温かさ

2021年の活動

町内果樹農家さんのもとで、剪定作業や出荷作業等に従事

ほりうち あつひさ
堀内 敦央



プロフィール

出身地：高畠町安久津
着 任：令和3年4月
勤務地：高畠熱中小学校
趣 味：写真、動画

高畠町の好きなスポット
旧高畠駅舎
高畠町のお気に入りポイント
空気がきれいでおいしい

2021 年の活動
熱中小学校授業補助
動画撮影・編集・公開
高畠イルミネーション
青竹ちょうちんまつり
二井宿地区の蛸 等
町内イベントへの参加
6月 駅からサイクリング
8月 青竹ちょうちんまつり
高畠町地域インターンサポート
瓜割石庭公園の環境整備

映像を通して高畠町の良さを伝えたい

どんなことをしているの？

「高畠熱中小学校の運営サポート活動」と「映像や写真による地域の発信活動」を軸に活動してきました。高畠熱中小学校の運営面では主にオンライン授業の配信管理やクリエイティブを担当しております。新型コロナの感染拡大は高畠熱中小学校の醍醐味である現地交流の機会損失を起しており、オンライン配信の重要度が高まった為「まるで会場にいるかのような配信授業」を心掛け、配信サポートを行っています。また、町内認知度の向上に向けてクリエイティブの強化にも力を入れ、募集チラシやSNS広告など、これまで以上に皆さんの心をつかむようなデザインを目指して作成しています。



◀これまでのイメージを覆す募集チラシ



得意なことはなんですか？

私が得意とする映像制作を駆使して高畠町の魅力の映像化に努めています。現代ではウェブ上での情報収集が主になり、中でもSNSを通じた映像による情報発信が重要性を増しております。高畠町の魅力を伝えるためにも、町の様子を映像として発信することで、高畠町が多くの人々の目に留まるように仕掛けています。

▼二井宿地区ホテル



▼青竹ちょうちんまつり



これからやってみたいこと

一年目の活動の強化を図りたいと思っています。高畠熱中小学校の活動ではよりコンテンツ強化に力を入れることに加え、町民の皆さまと高畠熱中小学校がより身近になるよう、皆さまとコラボした企画にも取り組んでいきます。映像の発信に関しては、ウィズコロナの時代において、活発な町の様子を伝えられる映像を届けていきたいと思っています。

障がいがある方も、「生涯安心して暮らせる」ような体制づくりを展開したい

どんなことをしているの？

高畠熱中小学校で運営のサポートをしています。SNSの投稿や、耕作放棄地を利用したワイン用ぶどうの栽培の管理作業担当として日々励んでいます。

高畠町に来町する前、福島県にて「東日本大震災からの復興事業」として始められたワイン用ぶどうの栽培作業をしていました。指導者がいなかったため、専門書を読みながらの作業をしなければならず、苦悶の日々を過ごしておりました。そうした経験もあり、高畠町で近隣農家さんの作業風景を見学させていただいたり、色々と技術を教えていただけるのは大変ありがたく、同時にレベルの高さを感じる一年となりました。



これからやってみたいこと①

瓜割石庭公園の近所に住んでいて、観光客をたくさん見かけます。しかし、そこから町内をめぐることなく、他の市町村へ移動してしまう傾向にあるのではないかと感じます。高畠町には観光資源がたくさんありますが、これまでよりも互いに連動し合い、高畠町を訪れた方に町中をぐるっとまわってもらえるようにできればと考えています。

これからやってみたいこと②

障がいのある方に「働くことの楽しさや喜び」を伝えていきたいです。福祉分野は私ひとりの力で実現させるのが難しく、様々な分野で活動されている方々との関わりや知識等が必要だと感じております。課題も多いとは思いますが、まずは現状をしっかりと把握し、向き合うことから始めたいと思います。



おはら よういち
小原 洋一



プロフィール

出身地：東京都豊島区
着 任：令和3年4月
勤務地：高畠熱中小学校
趣 味：釣り、登山、ツーリング

高畠町の好きなスポット
ぶどうまつたけライン
高畠町のお気に入りポイント
きれいな星や蛸が楽しめる

2021 年の活動
熱中小学校業務
授業補助
ワイン用ぶどう栽培管理
新商品開発
高畠町地域インターンサポート
町内イベントへの参加
6月 駅からサイクリング
8月 青竹ちょうちんまつり
瓜割石庭公園の環境整備

▼問合せ先／町企画財政課
企画調整係 ☎1112

町では、協力隊に地域の課題解決や魅力の向上に地域のみなさんと一緒に頑張って取り組んでほしいと考えています。隊員は、それぞれの個性を発揮し活動していきますので、町内の行事や活動の中で隊員を見かけた際は声がけいただき、温かく見守りながら、隊員とともにまちづくりを進めていただければ幸いです。

協力隊の活動をもっと知りたいみなさんへ



Instagramでみる



Facebookでみる



※撮影時のみマスクを外しました

地域おこし協力隊とは
人口減少等が進む地方において、地域外の人材を積極的に受け入れ、地域の魅力発信や地場産品等の開発、農林水産業の従事といった「地域協力活動」を行い、地域おこし協力隊力の維持・強化を図っていくことを目的とした制度です。

地域おこし協力隊の人件費や活動費は、総務省が定めた上限の範囲内で国から財源措置されます。